

# 自然科学展示室の紹介

## 概要

展示室では、五色台および香川県内における生物や地学に関する標本、さらに郷土の人文に関する資料等を展示している。五色台集団宿泊学習において実施している、野外体験学習や館内学習で学ぶ内容と関連している標本や資料が多く、五色台での学習をさらに深めることができる。

- 展示物品目 約 600 点      展示物点数 約 2000 点（豊島弘 昆虫コレクションを除く）
- 見学適正人数 20～30 人
- 見学所要時間 20～30 分

### 〈生物領域〉

県内で見られるホニュウ類や鳥類のはく製、昆虫類の標本などを展示しており、出会う機会が少ない野生動物をじっくりと観察することができる。また、五色台の四季を彩る様々な植物の花や実の写真パネルなどを展示している。

主な展示物（はく製・標本）			
野鳥・棠			
県鳥ホトトギス			
ワシ・タカ			
タヌキ・ウサギ			
五色台の昆虫標本			
シダ植物			
スズメバチ			
ヘビ			
五色台の花			
香川の木の实			

### 〈地学領域〉

県特産のサヌカイトやナウマンゾウの化石、さぬき市立雨滝自然科学館の森館長が発見した世界最古のナマズ科化石、メタセコイアの化石を発見した三木 茂 博士の功績<sup>みきしげる</sup>といった、香川県に縁がある資料を中心に展示している。また、「ふれてみようコーナー」では、アンモナイトの化石を中心に、実際に触れて太古の生命を実感することもできる。

主な展示品（岩石・化石）			
四国の地質立体模型			
サヌカイトの石琴			
サヌカイト			
火成岩・堆積岩・変成岩			
鉱物			
世界最古のナマズ科の化石			
ナウマンゾウの化石			
アンモナイトの化石			
三木博士の業績			
ふれてみようコーナー			

## 〈人文領域〉

五色台とその周辺で出土したサヌカイトの石器や剥片などを展示している。旧石器時代から縄文、弥生時代へと、用途に合わせた石器の変遷をたどることができる。また、県内各地で出土した縄文土器片や須恵器、讃岐国分寺跡から出土した軒丸瓦などを展示している。

主な展示品（石器・土器・瓦）
サヌカイトの石器
黒曜石
タンベ池で採集した遺物
旧石器時代の遺物
縄文時代の遺物
弥生時代の遺物
古墳時代の遺物
讃岐国分寺跡出土の瓦
古代寺院の瓦



## 〈豊島弘 昆虫コレクション〉

県に寄贈していただいた故 豊島弘氏が収集した昆虫標本（約 68000 点）の一部を展示室の一角に展示している。この中には、香川県内では絶滅した種で、県の自然史の重要な証拠標本が 20 点余り、絶滅が危惧される種である標本が 180 点余り含まれている。中でも、タガメ、ルイスハンミョウ、オオウラギンヒョウモンは、香川県レッドデータブックにおいて絶滅危惧 I 類に位置付けられている。

